
奇跡の生まれる場所

ICHIGO

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

奇跡の生まれる場所

【Nコード】

N4905BA

【作者名】

ICHIGO

【あらすじ】

妖精の数が激減し、魔法が人間の手から離れてしまった時代。

ある男との約束を果たすため、物語を頼りに「魔法使い」を探すラルフは北のフロンティアを目指す。

そして、そこで雪のように白い肌と黄金の瞳を持つ少女と出会う。

甘党な男と世間知らずの少女は、やがて奇跡を起こす……かもしれない。

※一週間に一話の更新スピードです。一話一話は短めですが、どうかお付き合いください。

<R15><残酷描写>表記は念のためです。

1 (前書き)

誤字脱字ありましたらすみません。

がんばって気力が続く限り書きたいと思いますのでよろしくおねがいします。

1週間に1話くらいの更新スピードになると思います。

その日、空はどこまでも高く、何よりも青かった――

「・・・あ、うまそう。」

新芽が芽吹く緑の絨毯。

その上でだらんと寝転がって空を見上げていた男が、ぽつりと呟く。所々跳ねた黒い髪には草や土、あげく何をしたのか、鳥の羽のようなもので絡まっている。

眠たそうに細められた青い瞳の先には、ふわふわと空を漂う白い雲。

「むふふ・・・お前はアイスクリームだな。そしてマシユマロはお前だ。」

相当頭の中は平和であるようだ。

今男が寝転がっている場所は、かつて戦場であった。

ファラス帝国とソレシア王国の国境線上であるこの場所は、大きな平原で障害物もないため、明確な線引きがし辛い。

その為しよっちゅう小競り合いが起きていた。

2年前に帝国が王国を滅ぼし、大陸全土を支配下においたことにより、ようやくこの地は平和を取り戻したのだ。

ブルルル！と馬の嘶きが男のすぐ隣であがった。

頭の中が平和すぎて蕩けそうな主に痺れを切らしたらしい。

「んあ？何だよアレキサンダー。お前もなんか食いたいのか？」

馬の催促に、「よっこらせ」と男は体を起こした。

言葉はおっさんそのものだが、その動作は猫のようにしなやかだ。その身を包む上下の服は、黒い革で作られており、シンプルではあるが、見るものが見れば、庶民には一生かかっても買うことが出来ないような代物であることが分かる。

「いやー、あんまりにも平和でさー。そしたら腹減るだろー？さらに眠くなるだろー？」

その言葉を理解したかのように、馬は胡乱げな瞳を主にむけた。

そして、フン！と鼻息を吹きかけると・・・霞むようにその場から消えた。

「げ！」

男がうめく。

「ちょ！おい！？アレク！！？こんなだっぴろい平原に置き去りかよ！？アレク！アレキサンダー！ア、アレキサンダーさまあああ！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4905ba/>

奇跡の生まれる場所

2012年1月13日18時01分発行